

講義名	野外教育活動演習		
科目区分	展開		
担当教員	内田 遼介/山口 志郎/関 和俊		
開講期・曜日・時限	前期集中 その他 その他	授業形態	
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

本演習では、自然環境での集団生活を通して課題解決能力やコミュニケーション能力を身につけることを目指します。学外研修の3泊4日のキャンプ実習を行い、自然環境の中で他者と協力し課題解決するプログラムを通じて、自ら行動する力や共助する力を養います。この実習が自己理解を深める機会になることを期待します。

到達目標

① 自然環境での生活を通じて、自ら判断し行動することができるようになる。
 ② グループワークを通じて、仲間と協力して助け合い、手助けできるようになる。

提出課題

実習日誌、実習レポート

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

実習日誌へのコメント、各演習内容に応じて個人またはグループに対して講評を行います。

評価の基準

取組状況・・・80%
 提出課題・・・20%

履修にあたっての注意・助言他

① 事前研修1：4月22日（水）12:15～12:45（予定）
 ② 事前研修2：7月22日（水）12:15～12:45（予定）
 ③ 学外研修：2020年8月24日（月）～8月27日（木） 3泊4日（予定）
 ④ 研修場所：神戸市立自然の家
 ⑤ 費用：学外研修に必要な経費は個人負担（約3万円） ＊2019年度3万1千円
 ⑥ そのほか：学外研修に必要な物については事前研修で指示するため、必ず出席すること。

教科書
・特になし。

プリント資料及び参考文献

必要に応じて資料を配布する。

授業計画

1 事前研修 (1) 学外研修のオリエンテーション
 2 事前研修 (2) 学外研修のオリエンテーション
 3 学外研修 (1) 1日目午前 開講式、アイスブレイク
 4 学外研修 (2) 1日目午後 課題設定
 5 学外研修 (3) 1日目夜間 グループワーク
 6 学外研修 (4) 2日目午前 野営プログラム1
 7 学外研修 (5) 2日目午後 野営プログラム2
 8 学外研修 (6) 2日目夜間 野営プログラム3
 9 学外研修 (7) 3日目午前 ロゲイニング1
 10 学外研修 (8) 3日目午後 ロゲイニング2、キャンプファイヤー準備
 11 学外研修 (9) 3日目夜間 キャンプファイヤー運営
 12 学外研修 (10) 4日目午前 振り返り
 13 学外研修 (11) 4日目午後 閉講式
 14 事後研修

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
 イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
 ウ：ディスカッション、ディベート
 エ：グループワーク
 オ：プレゼンテーション
 カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

<予習>
 学外研修当日までに、指定された用具をきちんと準備すること。
 野営プログラム、ロゲイニングについて知識を深めておくこと。
 <復習>
 実習後→実習で経験したことを大学生生活に活かすこと。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

実務経験あり：専門の外部講師より野営プログラムについて講習を受けます。

備考